

高電圧技術実証衛星「鳳龍弐号」の打ち上げ結果とその後の状況について

九州工業大学-衛星開発プロジェクトが開発を行なってきました高電圧実証衛星「鳳龍弐号」につきまして、多大なご支援、ご指導を賜り誠にありがとうございました。

本衛星は日本時刻 5 月 18 日の 01 時 39 分に種子島宇宙センターから H-IIA ロケット 21 号機にて打ち上げられ、同日 02 時 29 分に太陽同期準回帰軌道に無事投入されました。軌道投入後の同日 03 時 28 分、九工大地上局にて最初の CW ビーコン信号を受信でき、正常に分離後の衛星の起動が行われたことを確認するに至りました。

打ち上げ直後の対応に様々な面でご協力頂いたアマチュア無線家と UNISEC 地上局ネットワークの皆様、そして打ち上げの様子を見守って下さった皆様方、ありがとうございました。改めて厚く御礼申し上げます。

現在、本衛星は 1 周期 98 分の円軌道を健全な状態で周回しており、初期運用フェーズの段階で OBC（オンボードコンピュータ）系、電源系、通信系に異常がないことを確認致しました。5 月 24 日には、アマチュア無線局の正式免許を取得いたしました。今後は通常運用フェーズに移行し、FM アップ/ダウンリンクを通じて詳細なセンサデータの取得と解析を行なった後に、各ミッションを実行していく予定です。今後の衛星の運用計画と結果につきましては、本学衛星開発プロジェクトのホームページにて、随時情報発信をしていく予定です。今後とも、よろしくご支援、御指導の程、よろしくお願いいたします。

平成 24 年 05 月 25 日

九州工業大学 衛星開発プロジェクト一同